

山中湖国際音楽祭

LAKE YAMANAKA INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL

2015





LAKE YAMANAKA INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL

2015





山中湖国際音楽祭へようこそ！

富士山の麓、山中湖畔で開催する山中湖国際音楽祭は今年で8回目を数えます。

この音楽祭では、東西音楽の融合、若手演奏家の発表の場を設けることなどをめざして、開催してまいりました。今回は、そのねらいが着実に成果をあげてきたことを実感していただけるものと確信しています。

演奏するアーティストたちのアンサンブルは、彼らのハイレベルな技術と音楽性、息のあったチームワークの両輪の力によって生みだされます。音楽の醍醐味の一つであるアンサンブルの妙、東西音楽の融合とその迫力等々、この音楽祭でしか聴くことのできない演奏の数々をゆっくりとお楽しみ下さい。

この音楽祭は、毎年スタッフの丁寧な舞台作りと環境作りに支えられています。また、お客様と出演者との交流ではいつもとても楽しい時間を過ごしています。

本物の音楽を、間近で、リラックスした雰囲気楽しんでいただき、音楽の万華鏡の世界にひたっていただけたらと思います。

今回は、兄ヨハネス・クトロヴァッツが体調不良のため来日できず大変残念ですが、兄弟共々、この音楽祭がみなさんの心にいつまでも残り、よき思い出となることを心から願っています。

音楽監督エドワード・クトロヴァッツ

19 フェスティバル・オープニング

19日(土) 19:00～

津軽三味線ソロ: じょんから [津軽の響き]

津軽三味線 / 二代目 三山 貞正



ヴァイオリンとピアノのための作品

フランツ・リスト

1. ノットウルノ 第2番
2. 忘れられたロマンス
3. 眠れない
4. エレジー

ヴァイオリン / クリスチャン・ショル
ピアノ / エドワード・クトロヴァッツ



弦楽三重奏のためのミニアチュール 作品75A

アントニン・ドヴォルザーク

1. カブリッチオ
2. カパティナ
3. ロマンس
4. エレジー

ヴァイオリン / クリスチャン・ショル
ヴィオラ / シンシア・リャオ
チェロ / ルイス・ゾリタ



--- 休憩 ---

舞文様

相澤 洋正

1. 千年水
2. 風花舞
3. 盆踊り
4. 鬼火祭

尺八 / 米澤 浩
箏 / 熊澤 榮利子



山本 京子による2台8手ピアノのための編曲

エリック・サティ

1. グノシエンヌ 第3番
2. ジムノペディ 第1番

ピアノ / エドワード・クトロヴァッツ、山本 京子
ピアノ / デュエットウ [木内 佳苗、大嶋 有加里]



山本 京子による2台8手ピアノのための編曲

スコット・ジョプリン

1. ベセーナ
2. メイブル・リーフ・ラゲ

ピアノ / エドワード・クトロヴァッツ、山本 京子
ピアノ / デュエットウ [木内 佳苗、大嶋 有加里]



20日(日) 14:00～

フェスティバル・アフタヌーン

20

🎵 シャコンヌ

ヨハン・セバスチャン・バッハ

ヴァイオリンとピアノのための5つのプレリュード op.46

レーラ・アウエルバッハ

ヴァイオリン／クリスチャン・ショル
ピアノ／エドワード・クトロヴァッツ



🎵 鬼魂

相澤 洋正

尺八／米澤 浩
箏／熊澤 栄利子
津軽三味線／二代目 三山 貢正



🎵 印象：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのための三重奏

日本初演

シンシア・リャオ

ヴァイオリン／クリスチャン・ショル
ヴィオラ／シンシア・リャオ
チェロ／ルイス・ソリタ



🎵 ドリアンダンス

宮城 純一

エビタフ

尺八／米澤 浩
箏／熊澤 栄利子
津軽三味線／二代目 三山 貢正



🎵 2台ピアノのためのセレクション

エルクンパンチェロ・デ・クラシック
2 2 (Hatachi amari futatsu)

ラファエル・ヘルナンデス
木内 佳苗

ピアノ／デュエットウ [木内 佳苗、大嶋 有加里]



(休憩なし)

20 フェスティバル・ソワレ

20日(日) 19:00～

アース・スペクトル (ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、尺八、三味線、箏のための六重奏) 相澤 洋正

ヴァイオリン/クリスチャン・ショル
 ヴィオラ/シンシア・リャオ
 チェロ/ルイス・ソリタ
 尺八/米澤 浩
 箏/熊澤 栄利子
 津軽三味線/二代目 三山 貢正



ヴィオラとチェロのための二重奏曲変イ長調「2つのオペリガート眼鏡付き」Wo032 ルートウィヒ・ヴァン・ペートーベン

ヴィオラ/シンシア・リャオ
 チェロ/ルイス・ソリタ



ヴァイオリンとピアノのための作品 フランツ・リスト

1. コンソレーション (慰め) 第1番
2. コンソレーション (慰め) 第3番
3. 忘れられたワルツ
4. 3人のジプシー

ヴァイオリン/クリスチャン・ショル
 ピアノ/エドワード・クトロヴァッツ



--- 休 憩 ---

シネマ音楽セレクション 久石 譲 / 他

گران・フロー 相澤 洋正

日本初演

尺八/米澤 浩
 箏/熊澤 栄利子
 津軽三味線/二代目 三山 貢正
 ピアノ/デュエットウ [木内 佳苗、大嶋 有加里]





ピアノ曲 D946/2 アレグレット

フランツ・シューベルト

ピアノ/エドワード・クトロヴァッツ



ジョルジ・クルタークの編曲作品集より

ヨハン・セバスチャン・バッハ

花、人間は・・・
 神の時は最上の時
 怒りのコラール
 けんか
 水玉に水玉 その他

ピアノ/デュエットウ [木内佳苗、大嶋有加里]



弦楽三重奏曲変ロ長調 D 5 8 1

フランツ・シューベルト

1. アレグロ・モデラート
2. アンダンテ
3. メヌエット/アレグレット
4. ロンド/アレグレット

ヴァイオリン/クリスチャン・シオル
 ヴィオラ/シンシア・リャオ
 チェロ/レイス・ゾリタ



--- 休憩 ---



パッサカリア

日本初演

シンシア・リャオ

尺八/米澤 浩
 津軽三味線/二代目 三山 貢正
 ヴィオラ/シンシア・リャオ
 チェロ/レイス・ゾリタ



権現

世界初演

山本京子

1. 浄め
2. 権現
3. 星めぐりの歌
4. じゃんから
5. 権現

尺八/米澤 浩
 箏/熊澤 栄利子
 津軽三味線/二代目 三山 貢正
 女箏/山本京子



山本京子による2台8手ピアノのための編曲/バレエ組曲「エスタンシア」作品8

アルベルト・ヒナステラ

1. 農園で働く人々
2. 小麦の踊り
3. 終幕の踊り (マランボ)

ピアノ/エドワード・クトロヴァッツ、山本京子
 ピアノ/デュエットウ [木内佳苗、大嶋有加里]





エドワード・クトロヴァッツ

(音楽監督・ピアノ、オーストリア)

Eduard Kutrowatz

(Piano / Artistic Director, Austria)

エドワード・クトロヴァッツは、兄ヨハネス・クトロヴァッツと共にハイドン音楽院でピアノを習い始め、ウィーン国立音楽大学へ進学。ともに師事したR. K. プライゼンハマー女史の刺激を受け、兄弟でピアノ四手連弾や2台ピアノ演奏に本格的に取り組むこととなる。兄弟とも、卒業の翌年には同大学の教授に就任。1986年、イタリアのストレサ国際コンクール、ピアノデュオ部門で第1位を獲得したのが国際コンクールにおける初の受賞。その後も、ブルゲンランド州芸術賞など数々の賞や勲章を得ている。

2人の深みのある音楽表現と多様な演奏技法は、たゆまぬ努力と広範囲にわたる演奏活動(ピアニスト、室内音楽家、伴奏者、指揮者として)の賜物。血のつながった兄弟ゆえに率直で建設的な議論を十分に重ねてきたことも成功の要因と言える。これまでに、ヨーロッパ諸国、アジア、北米、オーストラリア、アフリカへのコンサートツアーを行い、世界有数のホールや著名な音楽祭で演奏。シューベルト、ブラームス、リスト、ガーシュウィン、ピアソラ作品等のCD制作においても高い評価を得ている。2006年には、日本にまつわる曲を集めたCD「Love for Japan」をリリースし、日本のみならずヨーロッパでも好評を博している。リストの生地、ライディングで開催される「リスト・フェスティバル」の音楽監督としても活躍中の兄弟は、リスト生誕200年にあたる2011年、ウィーン楽友協会をはじめとするオーストリア国内はもとより、ブダペスト、バイロイト、ワイマールといったリストゆかりのヨーロッパ各地や、ロシア、アメリカなどで特に精力的な演奏活動を展開。2011年3月のサントリーホール公演では、満席の聴衆から惜しめない拍手を受けた。東日本大震災の復興支援コンサートを行い、岩手県、宮城県、福島県の青年団の郷土芸能再生のために、コンサート収益の一部を寄付した。

また、エドワード・クトロヴァッツはピアノデュオのみならず、ピアノソロ、編曲、声楽家やヴァイオリンとのアンサンブルにおいても高い評価を得ている。今年4月、上野・東京文化会館で開催されたメゾソプラノ歌手エリーザベート・クルマンのコンサートでは伴奏者として出演して大成功をおさめ、その模様はNHKのBSプレミアムでも放送された。また、ヴァイオリニストのクリスチャン・ショルとのコンビで8月にリストの曲を最新CDとしてリリース。好評を博すと共に、活動の幅を広げている。

<http://www.duokutrowatz.com/>

<現職>

- ・シュライニング国際音楽祭音楽監督
(クトロヴァッツ兄弟の主宰で、故郷ブルゲンランド州のシュライニング域で開催されている音楽祭。)
- ・リスト・フェスティバル音楽監督
(フランク・リストの生地、ライディングで開催される音楽祭。)
- ・ウィーン国立音楽大学教授
- ・国際リスト協会副会長
- ・山中湖国際音楽祭2015音楽監督

<ピアノ・デュオとしてのコンサート活動>

- ・[ウィーン] 楽友協会/コンツェルトハウス
- ・[ライディング] リストホール
- ・[ニューヨーク] カーネギーホール
- ・[東京] サントリーホール

他多教



クリスチャン・ショル

(ヴァイオリン、ドイツ)

Christian Scholl

(Violin, Germany)

1972年ドイツ、マインツ生まれ。シュトゥットガルト音楽大学、カールスルーエ州立音楽大学に学んだ他、数々のマスタークラスを受講。ドイツ学術交流会の奨学生としてブダペストのフランツ・リスト音楽院へ留学した後、1998年5月、カールスルーエ州立音楽大学を首席で卒業。1998年夏にグラーツ音楽大学、2000年にはシュトゥットガルト音楽大学のカルテットクラスに進み、2002年同大学を首席ソリストとして卒業。

ヨーロッパ、アジア、アメリカ各国で、ソロや様々なアンサンブルのメンバーとして数多くのコンサートやメディアに出演している他、CD制作にも取り組んでいる。1997年からはウィーン室内管弦楽団のメンバーとして活躍中(2001年～同コンサートマスター)。プレーメンのドイツ室内管弦楽団、アイゼンシュタットのハイドンフィルハーモニー管弦楽団、チューリッヒ室内管弦楽団、カメラータ・ザルツブルグなどにも定期的に参加している。ウィーン、グラーツ、サンティアゴ・デ・コンポステーラ(スペイン)、カイロ、カールスルーエなどでのコンサートマスターとしての経験も豊富である。現在、リスボン・メトロポリタン管弦楽団(ポルトガル)、およびニーダーバイエルンフィルハーモニー(ドイツ)の第1コンサートマスターに在任中。

近年はロックやポップのアーティストとともに、クラシック、インドやトルコの音楽などのスタイルを取り入れたクロスオーバー音楽の企画に力を注いでいる。



シンシア・リャオ

(ヴィオラ・編曲、台湾)

Cynthia Liao

(Viola / Arrangement, Taiwan)

台湾、台北生まれ。台湾においてヴィオラと作曲の指導を受け、渡米。ウィーン国立音楽大学でトーマス・カクシュカにヴィオラを師事。2000年、卒業。アルティス・カルテット、ウィーン六重奏団、アルバン・ベルク四重奏団のメンバーのもと、室内楽を学ぶ。

2001～2003年、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団で首席ヴィオラ奏者を務める。2004年、リンツ州立ブルックナー管弦楽団ヴィオラ・パートリーダー。2003年よりウィーン室内管弦楽団メンバー。リサイタルでの演奏のほか、ウィーン楽友協会でのコンサートにソリストとして出演。トランスルヴァニア室内管弦楽団との韓国ツアー、リカルド・シャイーの指揮によるイタリアでの演奏等で活躍。

現代音楽に取り組む「アンサンブル・レコンシル」のメンバー。2006年よりジャズ・カルテット「ラジオ・ストリング・カルテット・ウィーン」メンバー。ベルリン・ジャズ音楽祭、ウィーン・ジャズ音楽祭、ドゥブロボニク・サマー・フェスティバル、ダブリンジャズ音楽祭などヨーロッパでのコンサートに出演。エッセン・フィルハーモニー・ホール、ストックホルム・コンサートホールなどでも演奏。ジャコモ・ブッチェーニからジミ・ヘンドリックスまで、あらゆる弦楽四重奏曲の録音経験がある。



ルイス・ゾリタ

(チェロ、スペイン)

Luis Zorita

(Violoncello, Spain)

1973年、レオン(スペイン)生まれ。オビエド(スペイン)、シカゴ(アメリカ)で学び、優秀な成績で卒業。スペイン、アメリカ、日本、オーストリアで開催されたソロ・コンテストで1位を獲得。1999年からフリーランスの演奏家としてウィーンを拠点に活動し、マスタークラスでの定期的な指導や、作曲家ヴォルフガング・ワーグナーとの活動を行っている。

オーケストラや室内楽の演奏家として、様々な編成で演奏。ヨーロッパ室内管弦楽団や、スーパーワールドオーケストラでの客演のほか、メルリン・アンサンブル、ニュー・クラシック・コミュニティ、モーツァルト・コレギウム、そして自身が2007年に立ち上げた クライスラー・ストリング・トリオのチェリストとして活躍している。

ソロ演奏家としては、スペイン国内のすべての主要文化施設を拠点にするオーケストラと共演。シカゴ、ロンドン、リュブリャナ、ザグレブ、グラーツ、ウィーンにおいても、ハイドンのチェロ協奏曲、サン・サーンス、ラロ、ロドリゴの作品、ブラームスの二重協奏曲、ベートーヴェンの三重協奏曲などを演奏。ダニエル・バレンボイム、サー・ゲオルグ・ショルティ、フィリップ・アントルモン、ミハエル・ギーレン、ピエール・ブーレーズといった指揮者とも共演した。ヨーロッパ、南米、アジア、アメリカ各地の有名な音楽祭での演奏に加え、2009年からシュライニング国際音楽祭「春の響き」に出演。1700年頃のミラノ製のチェロを使用。



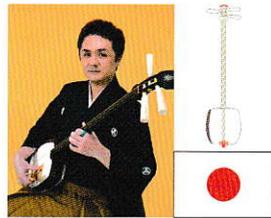
米澤 浩
- 尺八 -

Hiroshi Yonezawa
- Shakuhachi -



熊沢 栄利子
- 箏 -

Eriko Kumazawa
- Koto -



二代目 三山 貢正
- 津軽三味線 -

Mitsumasa Miyama
- Tsugaru Shamisen -

宮田耕八郎氏に師事。78年日本音楽集団入団。79年から海外での活動も開始し、欧州（北欧・旧東欧含む）・北米・中米・中国・台湾・韓国等で公演し200公演以上の海外実績を持つ。日本音楽集団の活動を通じてゲヴァントハウス・ニューヨークフィル・ヘルシンキフィル・読響・都響・京響等内外のオーケストラとの共演経験持つ一方、個人として韓国の国楽管絃楽団との共演も豊富である。

コンサート活動の他、演劇・放送音楽、市民文化講座やワークショップで講師を務める他、(財)地域創造が主催した「ステーションラボ 仙台セッション (01年)・東京セッション (08年)」でも邦楽の講師を務めるなど活動の幅は広い。

2001年からオーストリアの「シュライニング国際音楽祭 春の響き」をきっかけに箏の熊沢栄利子と開始した海外ツアーは、2011年の第12次までには欧州・中米等11カ国で60公演を越える。

2001年難波竹山・菅原久仁義らと尺八トリオ《575》を結成。2006年これまでになかった箏体験ワークショップ《YKプログラム》を熊沢栄利子と協同して考案し、小中学生を対象とした邦楽器の体験普及にも力を注ぎ、2008年からは邦楽の普及を目指して熊沢栄利子と共に横浜で「邦楽いろはにほ」シリーズをスタートさせる等、多面的に邦楽の普及に尽力している。

2001年よりCDのリリースを開始し、現在までに6枚をリリース。現在「尺八トリオ《575》メンバー、日本音楽集団団員、(財)地域創造邦楽地域活性化事業コーディネーター、島根邦楽集団 顧問
<http://homepage1.nifty.com/yonesan/>
<https://www.facebook.com/Yonezawa.Kumazawa.Inst>

砂崎知子氏に師事。NHK邦楽技能者育成会卒。1981年NHKオーディション合格。1978年日本音楽集団に入団し、中心的メンバーとして国内外の公演に数多く参加する他、スーパー歌舞伎など演劇・放送音楽や、講習会の講師等も務める。1991年より尺八の米澤浩と開催した「ジョイントリサイタル・シリーズ」で委嘱した「メナリ」(朴龍薫作曲)を契機として韓国に目を向けた演奏活動も展開し、韓国のソウル国立国楽管絃楽団・大邱市立国楽管絃楽団からコンチェルトのソリストとして招聘を受けている。

2001年からオーストリア「シュライニング国際音楽祭」をきっかけに尺八の米澤浩と開始した海外ツアーは、2011年の第12次欧州公演までで欧州・中米等11カ国で60公演を越え、ヴァイオリニストやチェリスト等との共演にも意欲的に取り組んでいる。

又コンサート活動の他、2006年には米澤浩と協同してこれまでになかった箏体験ワークショップ《YKプログラム》を考案し、島根県芸術文化センター「グラントワ」の《キッズ邦楽塾》や「横浜市芸術文化教育プログラム」、日本音楽集団・TAN共催の《Meet The 和楽器》などで同プログラムを実施し、小中学生を中心として箏の体験普及に尽力している。

又、2008年からは邦楽の普及を目指し、米澤浩と共に横浜で「邦楽いろはにほ」シリーズをスタートさせる等、色々な角度から邦楽と箏の普及に尽力している。現在/日本音楽集団団員、島根邦楽集団 顧問、生田流宮城社教師
<http://zipangu.com/kumazawa/>
<https://www.facebook.com/Yonezawa.Kumazawa.Inst>

津軽三味線 貢正流家元 (現 宗家) を父に持ち、民謡・和楽器の他、幼い頃よりピアノ・ギターなどの楽器に触れて育つ。五線譜による三味線演奏について三味線 笹本流家元 笹本 壽師に師事し、積極的に学ぶ。1999年3月 邦楽界の登竜門である『NHK 邦楽技能者育成会 (第44期)』を卒業。同期による「獅子の会」演奏会 (2000年~2009年) では、津軽三味線にてアンサンブルに参加。『津軽三味線コンクール全国大会』独奏 一般の部 2003年・2004年連続上位入賞。

2008年 ファーストリサイタルを開催し、『大志』、『爽』、『団樂』、『渡』などのオリジナル曲を創作し発表。

2015年、二代目家元 三山貢正を襲名。本流の継承、後進の指導・育成に力を注ぐ一方、「力強い撥さばき」と「繊細な音色」のハーモニーを醸し出す表現力豊かなその津軽三味線の響きは各方面で好評を得ており、各種イベント・舞台等の様々なステージに於いて幅広く活動している。また、津軽三味線・三味線・三線 (沖繩) のスタジオプレーヤーとして民謡の他、演歌・クラシック・POPS 問わず各種CD・映画・CM・制作・ゲーム等の音楽レコーディングに数多く参加するなど各方面で活躍中。アメリカ・オーストリア・スペイン・ギリシャ・オーストラリア・ブラジル・シンガポール・韓国など海外公演にも数多く参加しており、日本文化の紹介にも尽力している。

現在/津軽三味線貢正流 家元、公益財団法人日本民謡協会公認三味線教授
<http://www.tsugarusyamisen.com/>
<http://www.facebook.com/3yama.mmo>



デュエットウ

〔木内佳苗、大嶋有加里〕

- ピアノデュオ -

Duetwo

- Piano Duo -

東京音楽大学を卒業後、英国王立音楽院にてピアノデュオ演奏家資格ディプロマを取得。留学中にイギリス、ドイツ、ハンガリーなどヨーロッパ各地で演奏し、国境を越えた賞賛を受けた。

1998年、第4回国際ピアノデュオコンクール2台ピアノ部門において特別賞毎日新聞社賞を受賞。同年ブルガリアで行われた第3回 Music&Earth 国際器楽コンクール」ピアノアンサンブル部門で第1位に輝いた。

1999年には巨匠ジャン・フルネの指揮のもと日本フィルハーモニー交響楽団と協演。2000年フランスの日本大使館にて近現代作曲家のジョン・ケージ、クルタージュの作品を演奏。また、日本テレビの「ズームイン!! Super」へ度々出演してオリジナル曲を発表しているほか、雑誌への執筆、作曲・編曲活動にも力を注いでいる。2005年初のデュエットウ作曲・編曲楽譜「デュエットウ 踊る連弾・歌う連弾」が音楽之友社より発売。西日本放送のラジオ番組「波乗りラジオ/WEEK END FEVER」のレギュラー・パーソナリティーも務める。

2014年2月にデュエットウ結成20周年記念CD「いつもとなりで…」を発売。

<http://www.duetwo.com/>



山本 京子

- ピアノ・作曲・編曲 -

Kyoko Yamamoto

- Piano/Arrangement -

神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。2000年よりピアソラ作品のピアノ編曲楽譜の出版を重ねている。編曲活動を通して国内外の演奏家達との交流を深めており、山本京子の作品はトップアーティストからアマチュアまで多くの支持を得ている。とりわけピアノデュオ・クトロヴァッツにとって山本京子編曲によるピアソラ作品は主要なレパートリーとなっており、多くのコンサートで演奏されている。

ヨーヨー・マ、キャサリン・ストット、アルゲリッチ・プレゼンツ・プロジェクト（イタリア、アルゼンチン他）、klangfruehling 音楽祭（オーストリア）、山中湖国際音楽祭などに作品を提供。2011年よりアルゲリッチ・プレゼンツ・プロジェクトの作曲家に登録されている。

また、2005年より武田有賀とのピアノ・デュオ mumuki で演奏活動中。mumukiのコンサートタイトルは「22世紀のクラシック」。演目は、ピアソラに限らずジャンルを問わない。時空を超えて支持されると思われる作品を編曲して発表している。

2014年、ピアノデュオ・クトロヴァッツがリリースした「東風」は、坂本龍一の曲を山本京子が2台ピアノのために編曲した。

<http://www.kyoko-yamamoto.com/>



相澤 洋正

- 作曲 -

Hiromasa Aizawa

- Composition -

長野県生まれ。千葉大学教育学部卒業。

ピアノ曲や合唱曲、弦楽アンサンブル、絵本音楽など多数。2010年山中湖国際音楽祭からの委嘱をきっかけに邦楽器の作品にも取り組み、「邦楽いろはにほ〜」公益財団法人しまむ文化振興財団」等から委嘱を受け、作品を発表。またピアノデュオ・クトロヴァッツのために「ふるさと」「ていさぐぬ花」を編曲。2012年には弦楽四重奏のための「夢宵桜」がレオポルト美術館（ウィーン）にて初演された。

作編曲の他に幼稚園・保育園などで「絵本とチェロのコンサート」「0歳からの音のたままほこ」を企画し、演奏活動も行っている。

<http://www.hiromasaizawa.com/>



塚田 裕

- 絵・インスタレーション -

Hiroshi Tsukada

- Painting / Installation -

1966年 長野県生まれ

2005、08、12年

オーストリア・シュライニング音楽祭 招待個展

2007年 岡山県倉敷市工房 IKUKO で個展

2007～2014年 山中湖国際音楽祭で個展

八ヶ岳山麓にアトリエをおき、日々の生活の中で感じ、自身の心に積み重なっていく自然から受ける印象を心象として平面に描き出すことを近年の制作テーマとしている。荻太郎に師事。2004～2008年、真板雅文のアシスタントをつとめる。

■ 会場では、画家・塚田 裕の絵とインスタレーションが、山中湖国際音楽祭ならではのアートな雰囲気演出します。

山中湖国際音楽祭の開催にあたり、多くの方々のご支援・ご協力をいただきました。
心より御礼申し上げます。

<協賛各社>

赤坂陽光ホテル
アクア
エヌテーアクアツインズ株式会社
家庭料理おかる
鹿島印刷株式会社
株式会社アイメック
株式会社厚木玄林堂
株式会社 A K 総研
株式会社あらや製作所
株式会社安藤・間
株式会社伊藤園
株式会社エージェント
株式会社エムセックインターナショナル
株式会社オオモリ設備
株式会社岡村製作所
株式会社加賀田組東京支店
株式会社九電工東京本社
株式会社久米設計
株式会社ケーブルテレビ富士
株式会社げんき
株式会社サンゲツ
株式会社ジャパンビバレッジ
株式会社神アート
株式会社スマイル
株式会社高村クリーニング店
株式会社東京バスワールド
株式会社中村酒販
株式会社ビ・ボーン
株式会社ミツウロコ
株式会社山手消毒
株式会社吉嶋商店
株式会社ライオン事務器
株式会社ワタナベ
菊地牛乳店
協立電気興業株式会社
栗原工業株式会社
コズモスゼネラルサービス株式会社
シダックス株式会社
匂の味 北海
新宿ニューシティホテル
生活協同組合バルシステム山梨
筑前建物管理株式会社
戸田建設株式会社
日本通運株式会社

バーディー
パールホテルズ
マロウドイン赤坂
ミサカフラワー
山一ステーション
有限会社今井文具店
有限会社シグマ
有限会社ブランニングハウス
有限会社マーディー
有限会社松島屋
有限会社安田商事
有限会社ヨネヤ自動車整備工場
リコージャパン株式会社
渡辺建工

<協力>

山中湖中学校
株式会社山中湖観光振興公社
株式会社前田源商店
光織物有限会社
まるき葡萄酒株式会社

Piano Duo Kutrowatz Concert Schedule

今後の公演スケジュール

- 12月1日(火) 東京 ヤマハホール
19:00～一般公演
主催：一般財団法人日本青年館
- 12月3日(木) 山口県長門市 ルネッサながと
14:00～中学生芸術鑑賞公演
主催：長門市教育委員会
18:30～一般公演
主催：公益財団法人長門市文化振興財団
- 12月5日(月・祝) 千葉県船橋市 船橋市民文化ホール
14:00～一般公演
主催：船橋市民文化ホール



Piano Duo Kutrowatz 200 Club Japan

会員
募集中

クトロヴァッツを応援する200人限定のファンクラブ

- ・山中湖国際音楽祭期間中のご希望の1コンサートと、首都圏での会員様向けコンサート(年1回)にご招待。
- ・会員価格でのCDご提供、会員のご家族へのチケット優待。
- ・PDKの最新情報をお届けする会報の発行(年2回)など。
- ・会員証、会員バッジの配布、入会記念品の贈呈。

■入会金 5,000円(初年度のみ)

■年会費 10,000円

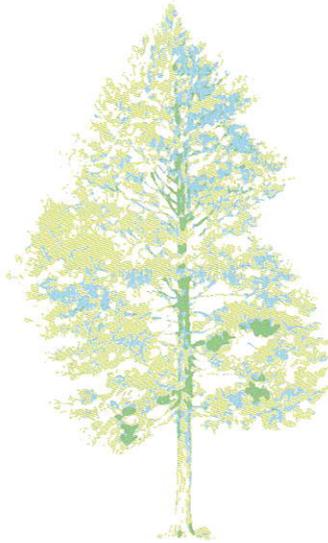
お申し込み・お問い合わせ

PDK 200 Club Japan 事務局 [一般財団法人日本青年館 公益事業部]

TEL 03-6452-9012

E-mail pdk@nippon-seinenkan.or.jp

<http://www.nippon-seinenkan.or.jp/event/ktrowatz/fanclub.html>



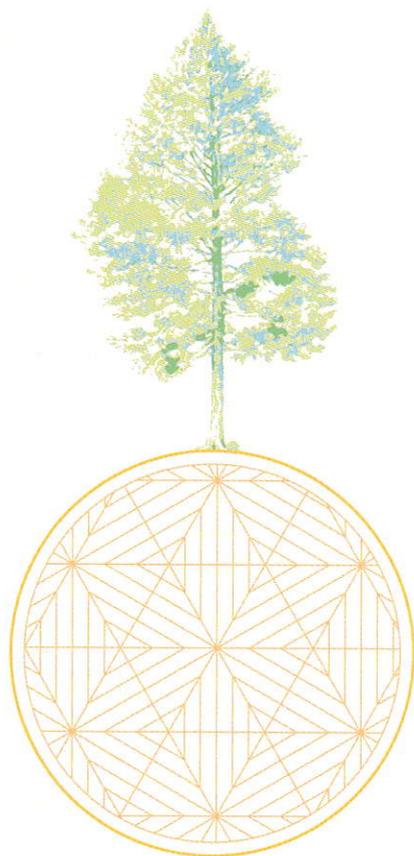
- 主 催 一般財団法人日本青年館／株式会社ニッセイ／山中湖国際音楽祭実行委員会
- 後 援 文化庁／オーストリア大使館／(社)全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)／
山梨県教育委員会／山中湖村／山中湖村教育委員会／山中湖観光協会／
読売新聞社／山梨日日新聞社／山梨放送／テレビ山梨／富士急行株式会社
- 協 賛 株式会社ヤマハミュージックジャパン
- 特別協力 TANAKA KEIKO OFFICE／PDK 200 Club Japan
- 協力 スピカ 平和・協同ジャーナリスト基金(P C J F)
- 音楽監督 エドワード・クトロヴァッツ
- 舞台監督 原 有人(有限会社フルスペック)
- 照明・音響 有限会社フルスペック
- ピアノ調律 水谷浩章(株式会社ヤマハミュージックジャパン)
- インスタレーション 塚田裕



2017年秋、日本青年館が装い新たにスタートします。

 **安藤ハザマ**

祝 山中湖国際音楽祭



LAKE YAMANAKA INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL

